



佐々木 義朗 さん

ささき よしろう / 46歳 / 支笏湖温泉  
NPO法人支笏湖まちづくり機構 Neos  
ステージ代表理事。支笏湖まつり実行委員会  
総務企画部副部長。幌美内と支笏湖温泉で  
ホテル総支配人をしながら、支笏湖地域の  
イベントやまちづくりに情熱を注いでいる。

その年の気候や気温で色  
や厚さが変わる氷濤<sup>ひょうとう</sup>ま  
つりの氷像たち：

山々が緑になり、そして、紅  
く染まる：

支笏湖は訪れるごとに、そ  
の瞬間にしかない表情を魅せ  
てくれます。

支笏湖では、秋の味覚を味  
わい、紅葉を満喫できる「紅  
葉まつり」、支笏湖の水や厳し  
い寒さがつくり出す氷の美し  
さを感じることができる「氷  
濤まつり」など、さまざまな  
イベントが行われています。

こうしたイベントの運営に  
関わってきた佐々木さん。

「日々の四季の移り変わり。  
そして素晴らしい温泉をここ  
支笏湖で感じてほしい」と話  
します。

## 汗を涙に変えられる仲間がいる

ひとのちからが輝く支笏湖の魅力

イベントやまちづくりで重  
要なことは情熱を持つことと  
考える佐々木さん。

「ここで暮らす私たちの手  
で、ここだけの食材や素材を  
見つけ出し、地域の魅力をつ  
くっていくこと。情熱をもつ  
てつくったものは、自信をも  
ってお客さんに出せるはず」  
と話します。

また、地元の方やイベント  
をつくる方も楽しむことが大  
切と考える佐々木さん。地域  
で行われる神社まつりで子ど  
もたちを喜ばせたいと、みこ  
しを担ぎ手とともに湖に飛び  
込ませたことも：

「地域のみんで楽しめるも  
のと始めましたが、観光客の  
方も大喜びでした。自分たち  
が楽しいことはだれもが楽し  
い。そして、イベントは自分

たちで楽しむことが原点」と、  
今も続くこのまつりから得た  
イベントの楽しみ方について  
話します。

「風向きで変化する湖面の表  
情が好き」と佐々木さん。

「ここが好きだから、離れた  
くない。ここを離れたくない  
から、ここでがんばりたい。  
子どものときから育ててくれ  
た地域の方が今も見守ってく  
れているから、安心してがん  
ばれる。そして、汗を涙に変  
えるくらい苦労してイベント  
を成功させた仲間がいるから  
前を向いてがんばれる」

地域とともにこの支笏湖の  
魅力を守り続け、新たな魅力  
をつくっていききたいと、熱い  
想いを話してくれました。



氷濤まつり

寒さが厳しさを増す1月下旬。支笏湖の水でできた氷像が並ぶ氷濤まつりが開かれます。ブルーの氷像は夜には七色の光で照らされ幻想的な雰囲気になります。



紅葉まつり

支笏湖の森が紅や黄色に染まり始める10月。紅葉まつりが開かれます。温泉の入浴割引なども行われ、きのこ汁やチップ汁を味わいながら、実りの秋を感じます。



湖水まつり

支笏湖の森がもっとも元気になる夏。森の濃い緑と湖水と空の澄んだ青を求めて多くの方が訪れます。湖水まつりでは、鼓笛演奏や花火などで短い夏を楽しみます。



湖水開き

支笏湖の春は、湖水開きから始まります。毎年4月、残雪の山々に囲まれた湖の上では、遊覧船から大きな鍵が投げ入れられ、1年の安全を祈ります。